

ようこそ横浜の学校へ

やさしい日本語

## Ⅲ 保護者の方へ

～横浜の学校生活～



令和元年 11 月 改訂版

横浜市教育委員会

# もくじ

## I 学校制度

日本の学校系統図	1
1 学校の種類	1
2 義務教育	2
3 外国人の就学	2
4 横浜市の小・中学校に編入学するための手続き	2
5 学校に行く前に必要なこと	3
6 横浜市の中で学校が変わる時に必要なこと	3

## II 日本語がよく分からない子どもが使える支援

1 学校ガイダンス	4
2 「ひまわり」のプレクラス	4
3 日本語教室	5
4 国際教室	5
5 子どもの母語によるボランティア	5
6 親のための通訳	5
7 就学前教室「さくら教室」	5

## III 横浜市での学校生活

1 学校に行く期間とお休みの期間	6
2 学校に行く時間、帰る時間	6
3 学校への行き方・集団登校（小学校）	6
4 お昼ごはん（給食・弁当）	6
5 掃除	6
6 小学校・中学校の一日の例	7
7 健康と安全	8

## IV 学校の行事

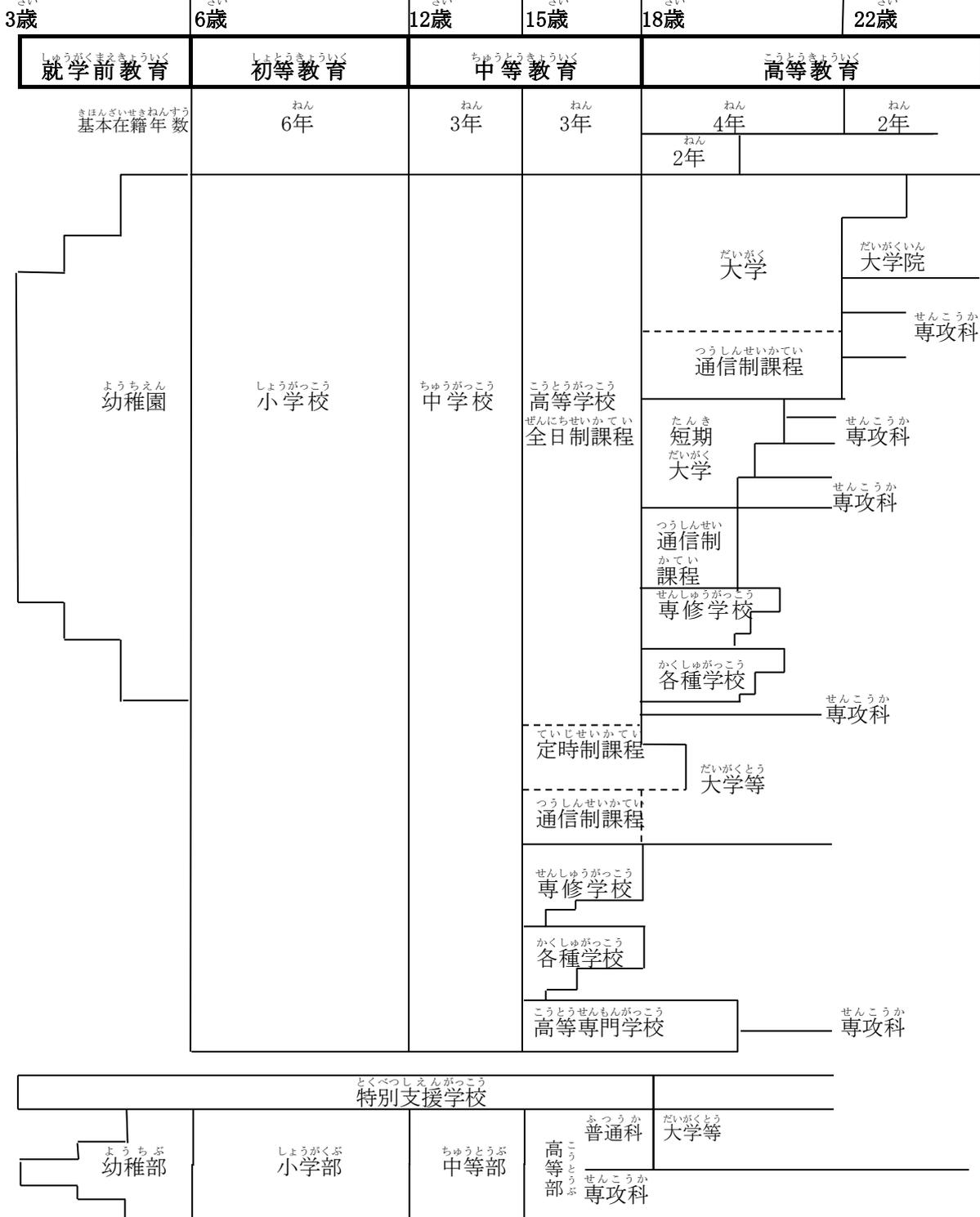
1 小学校の行事	9
2 中学校の行事	10

V	きょう かないよう 教科内容	
- 1	も もの 持ち物	11
- 2	しょうがっこう きょう か 小学校の教科	15
- 3	ちゅうがっこう きょう か 中学校の教科	16
- 4	あゆみ れんらくひょう あゆみ・連絡票	16
VI	ぶ かつどう 部活動	17
VII	にほん がっこう はい まえ おや し 日本の学校に入る前に、親として知っておくこと	
- 1	おや ほら かね 親が払うお金	17
- 2	おや せんせい はな きかい 親が先生と話す機会	17
- 3	P T A	18
- 4	にほん ご べんきょう 日本語の勉強	18
- 5	がっこうせいかつ き つ 学校生活で気を付けてほしいこと	18
VIII	がっこう お あと しょうがくせい 学校が終わった後 (小学生)	
- 1	ほうかご 放課後キッズクラブ・はまっ子ふれあいスクール・放課後児童クラブ	19
IX	しん ろ 進路	
- 1	しょうがっこう ちゅうがっこう にゅうがく 小学校から中学校への入学	19
- 2	ちゅうがっこうそつぎょう ご しん ろ 中学校卒業後の進路	19
X	と あ 問い合わせ	
- 1	がいこくじん せいかつじょうほう そうだん つうやく まどぐち 外国人のための生活情報、相談、通訳ボランティアの窓口	23
- 2	にゅうがく がくねん とちゅう がっこう か 入学、学年の途中で学校が変わるとき	25
- 3	にほん ごきょうしつ べんきょう ボランティア日本語教室・勉強のサポート	25
- 4	がいこくじんがっこう 外国人学校	25
- 5	ちゅうがっこう や かんがつきゅう 中学校夜間学級	26
- 6	しゅうがくえんじょ 就学援助	26
- 7	しょうがくきん 奨学金	26
- 8	じぶん くに かえ 自分の国に帰るとき	26

# I. 学校制度

日本の学校系統図

(年齢)



## I-1 学校の種類

日本では、幼稚園（保育園）、小学校、中学校、高等学校、大学などがあります。また、国立、公立、私立などで教育内容はほとんど同じです。

## I-2 義務教育

6歳～12歳の小学校と12歳～15歳の中学校を合わせて義務教育です。

必ず子どもを学校に行かせます。

小学校に入るのは6歳になってから初めての4月です。6年間の小学校の後、中学校に3年間行きます。

小学校では子どもを「児童」と呼びます。中学校では子どもを「生徒」と呼びます。

小学校・中学校の授業と教科書は無料です。授業に必要な教材など、有料のものもあります。

障害などがある子どもは、特別支援学校や小学校・中学校の個別支援学級に行かれます。

## I-3 外国人の就学

日本に住む外国人も日本の学校に行かれます。

日本の学校では、子どもの誕生日で学年が決まります。(4月2日に生まれた子どもから翌年の4月1日に生まれた子どもまでが同じ学年です。)

日本の学校は4月から始まるので、自分の国の学校の学年とは違う場合があります。

## I-4 横浜市の小・中学校に編入学するための手続き

① 住んでいる区の区役所で住民登録をします。

(在留カードを持っていきます。在留カードがなくても相談できます。)

子どもが日本の学校に行くことを言います。

② 区役所で子どもが行く学校を言われます。

③ 区役所で渡される書類を書きます。

「外国人就学申請書」(4月に1年生になる場合は「就学案内」)

A 韓国・朝鮮以外の外国人(青色(第8号様式の2)の紙)

○子どもが行く学校に行き、校長先生のサインをもらいます。

○サインをもらった紙を区役所に出します。

B 韓国・朝鮮の人(白色(第8号様式の1)の紙)

○書いた書類を区役所に出します。

④ 区役所から「外国人児童生徒入学許可証」が届きます。

⑤ 「外国人児童生徒入学許可証」に書いてある学校に、子どもと一緒にいき、学校のことを聞きます。

## I-5 学校に行く前に必要なこと

学校に入る前に子どもと一緒に学校に行き相談します。

学校では、日本の学校のことや、これまでの子どもの学校のこと、家族のことなどを話します。

親が日本語が分からない時には、日本語が分かる人と一緒に行きます。

(日本語が分かる人がいなければ、学校に行く日を言って、学校に相談します。)

### 【学校に行くときに話すこと、もっていくもの】

・パスポートや在留カードを持っていきます。

・今の学校に入る前の学習(学校に行っていたか、何年生だったか など)が分かるもの  
(学校に行っていたことが分かる紙や、子どもの成績が分かる紙を持っていきます。)

・日本にいる予定の期間が分かるもの

・自分の家で日本語が分かる人がいるか

・子どもと家族の名前

・子どもの生まれた日

・住んでいる住所

・一緒に住んでいる家族のこと

・親の連絡先(緊急の時、仕事場、通訳ができる知り合いの人 など)

・家から学校までの行き方

・子どもの健康(前に大きな病気をしたことがあるか、メガネは必要か、耳が聞こえにくいことはないか、治っていない病気があるか、食べられないものはないか、アレルギーはあるか など)

## I-6 横浜市の中で学校が変わる時に必要なこと

横浜市では、住んでいる場所でのどの学校に行くか決めていきます。

引っ越しをする場合には、担任の先生に「引っ越しします」と言います。

横浜市内でも横浜市以外への引っ越しでも、必要なことは、①～④です。

① 引っ越しで学校が変わる場合には、学校に行き「転学・退学届出書」を書きます。

(印鑑を持ってきてください。)

学校から「在学証明書」、「教科用図書給与証明書」をもらいます。

② 区役所で「転出届」を書きます。区役所で「転出証明書」をもらいます。

学校が変わる時には、新しい学校を聞きます。

③ 引っ越し先の区役所で「転入届」を書きます。

区役所に学校からもらった「在学証明書」を持っていきます。

区役所で新しい学校に入学する日を聞いて、「入学通知書」をもらいます。

④ 入学する前に、これから行く学校に「入学通知書」と「教科用図書給与証明書」をもっていく。

引っ越しをして子どもが行く学校が変わる場合でも、小学校6年生や中学校3年生で、もうすぐ卒業する時には、同じ学校に行かれるかどうか、学校に相談します。校長先生が同じ学校に行かれると言ってくれた時には、「学区外通学許可書」をもらって、区役所に行きます。

## II. 日本語がよく分からない子どもが使える支援

### II-1 学校ガイダンス

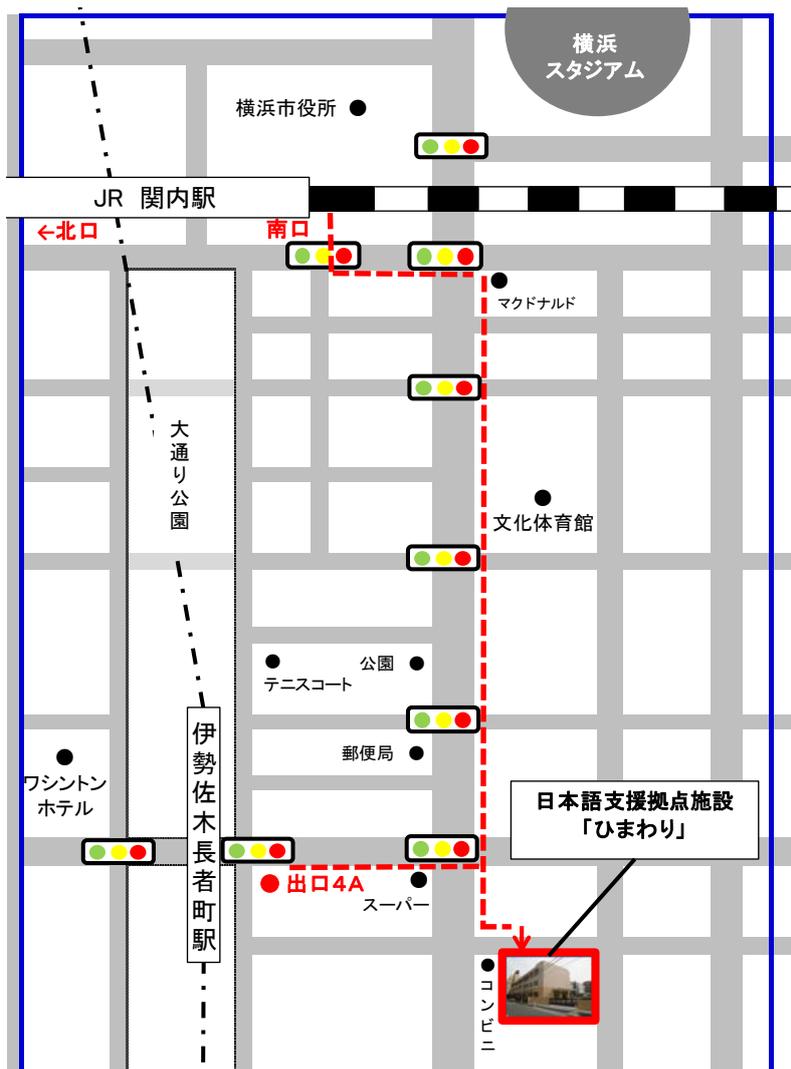
日本に来たばかりの小・中学校の子どもと親のために、「英語、中国語、タガログ語、やさしい日本語」で、日本の学校について説明します。

○時間：毎週火曜日 15:00～

○場所：日本語支援拠点施設「ひまわり」（場所は下の地図を見てください）

### II-2 「ひまわり」のプレクラス

日本に来たばかりで、日本語が分からない子どもは、4週間、週3日、「ひまわり」のプレクラスに行くことができます。「ひまわり」で日本語や日本の学校のことを勉強します。



## II-3 日本語教室

小中学校に行っている、日本語を勉強し始めたばかりの子どもには、日本語教室で日本語を教えます。

◆通級指導：市内5か所にある教室のうち1か所に行きます。(主に中学生)

◆派遣指導：子どもが行っている学校に、日本語の先生が来て、日本語を教えます。  
(主に小学生)

## II-4 国際教室

日本語がよくわからない子どもが多い学校には、国際教室があります。担当の先生が、日本語や教科の勉強、学校生活の支援などをします。

## II-5 子どもの母語によるボランティア

日本にきたばかりの子どもで、初めて学校に行く場合には、子どもの母語が話せるボランティアを派遣します。ボランティアは子どもが学校に慣れるお手伝いをします。ボランティアが必要なときは、学校に相談します。

## II-6 親のための通訳

日本語がよく分からない親のために、学校が説明会や面談のときに、通訳ボランティアを頼めます。ボランティアが必要なときは、学校に相談します。

## II-7 就学前教室「さくら教室」

4月に小学校1年生になる子どもと親のための教室があります。3月の土曜日に2回あります。日本の小学校に入る準備をします。2月に小学校で行う「入学者説明会」で申し込みます。



### III. 横浜市での学校生活

#### III-1 学校に行く期間とお休みの期間

日本の学校は、4月から始まり、3月に終わります。

月曜日から金曜日は毎日学校に行きます。

学校のお休みは、土曜日、日曜日、祝日、開港記念日（6/2）、春休み（3/26～4/4）、夏休み（7/21～8/26）、冬休み（12/26～1/6）です。春休み、夏休み、冬休みは学校によって日にちが違うことがあります。

#### III-2 学校に行く時間、帰る時間

多くの学校では、学校には8:30までに行きます。学校によって、時間が違うことがあります。先生に聞きます。

授業が始まるまでに学校に行かないと、「遅刻」になります。子どもが病気で学校に遅れる時や、休む時には、必ず学校に電話します。

学校が終わる時間は、毎日違います。学校でもらう時間割を見ます。

子どもの帰りが遅くて心配な時は、学校に電話します。

#### III-3 学校への行き方・集団登校（小学校）

小学校では、家から学校までの道が決まっています。この道を「通学路」といいます。子どもが学校に行く時には、必ず「通学路」を歩きます。

学校によっては、「集団登校」があります。「集団登校」では近くの子どもが集まって、一緒に学校に行きます。集まる場所や時間を確かめて、遅れないように行きます。



#### III-4 お昼ごはん（給食・お弁当）

小学校では、月曜日から金曜日まで学校で給食があります。行事などで給食がない日は、学校からお知らせがあります。子どもが給食の準備や片づけをします。

宗教やアレルギーで食べられないものがある場合には、学校に相談します。

中学校では、給食はありません。家からお弁当を持っていくか、学校で買うことができます。

#### III-5 掃除

日本では、子どもが先生と一緒に教室や階段、廊下を掃除します。



### Ⅲ-6 小学校、中学校の一日の例

1日の授業時間や、学校に来る時間、帰る時間は曜日や学校によって違います。

小学校6年生や中学校では、1日5～6時限の授業があります。(小学校は1時限が45分間、中学校は1時限が50分間です。)

小学校では、クラスの担任の先生がすべての授業を教えます。中学校では、教科によって教える先生が変わります。

#### 【小学校の例】

学校に着く	8 : 10 ~	8 : 30
朝の会	8 : 30 ~	8 : 45
1時限目	8 : 50 ~	9 : 35
2時限目	9 : 40 ~	10 : 25
休み時間	10 : 25 ~	10 : 45
3時限目	10 : 45 ~	11 : 30
4時限目	11 : 35 ~	12 : 20
給食	12 : 20 ~	13 : 05
昼休み	13 : 05 ~	13 : 20
掃除	13 : 25 ~	13 : 40
5時限目	13 : 45 ~	14 : 30
6時限目	14 : 35 ~	15 : 20
帰りの会	15 : 20 ~	15 : 30
家に帰る	15 : 30	

#### 【中学校の例】

学校に着く	8 : 35
授業開始	8 : 40
学級活動	8 : 40 ~ 8 : 50
1時限目	8 : 50 ~ 9 : 40
2時限目	9 : 50 ~ 10 : 40
3時限目	10 : 50 ~ 11 : 40
4時限目	11 : 50 ~ 12 : 40
昼食・昼休み	12 : 45 ~ 13 : 25
5時限目	13 : 30 ~ 14 : 20
6時限目	14 : 30 ~ 15 : 20
学級活動	15 : 20 ~ 15 : 30
掃除	15 : 30 ~ 15 : 50
部活動	15 : 50 ~
家に帰る	17 : 00 ~ 18 : 00



### Ⅲ-7 健康と安全

#### ◆保健室

子どもが学校でけがをしたり、病気になった時に行きます。

けがや病気の状態で、親に連絡することがあります。病院に行くことになったら、親に連絡します。保健室の先生には、健康のことについて相談ができます。

#### ◆定期健康診断

子どもの健康状態を知るために、1年に1回健康診断をします。

##### ・学校での検査内容

身長、体重、視力、聴力、心電図、結核、尿 など  
(検査内容は学年で違うことがあります。)

##### ・学校のお医者さんの検診

内科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科



#### ◆学校での事故やけがの補償

子どもが学校で事故やけがにあつたら、日本スポーツ振興センター「災害共済給付」が使えます。掛け金の一部は、それぞれの家庭で払っています。

#### ◆警報・災害など

7:00AMに神奈川県全域か神奈川県東部に「暴風警報」・「大雪警報」・「暴風雪警報」・「特別警報」・「降灰予報」が出ているときには、学校はお休みです。学校から連絡はしません。

子どもたちが学校にいるときに、「暴風警報」・「大雪警報」・「暴風雪警報」・「特別警報」・「降灰予報」が出た時には、次のどれかの対応をします。学校から家庭に連絡があります。

- ・集団下校・・・家の近い子どもが集まって一緒に帰ります。  
(学校の先生が一緒に行きます。)

・下校時刻繰上げ・・・いつもより早い時間に家に帰ります。

・保護者引き渡し・・・学校に親が迎えに行きます。

※大きな地震(震度5強以上)の時には、親への引き渡しになります。

#### ◆避難訓練

学校では地震があつた時に逃げるができるように、子どもが「避難訓練」をします。

避難訓練の日には、学校に親が迎えに行く「保護者引き渡し」をする学校もあります。

## IV. 学校の行事

日本の学校では、1年間にたくさんの行事があります。行事の中には、親に来てもらう行事や、お金がかかる行事があります。学校から行事の前に連絡があります。

行事の内容は学校や学年で違いますが、多くの学校では次のような行事があります。

### IV-1 小学校の行事

【小学校 (例)】学校によって月や内容は変わります。

4月	入学式	10月	運動会
	遠足		演劇鑑賞 音楽鑑賞会
	授業参観 学級懇談会		遠足
5月	家庭訪問		修学旅行
6月	宿泊体験学習	11月	社会見学
7月	学級懇談会	12月	個人面談
		1月	球技大会
		2月	授業参観
9月	授業参観 学級懇談会	3月	卒業式



#### 遠足

みんなでお弁当を持って出かけます。公園や動物園などへ行って遊んだり見学したりします。

#### 社会見学

社会の授業です。地域の工場や施設などを見に行きます。

#### 個人面談

子どもの学校での学習や生活を、担任が個別に保護者と話し合います。

#### 学級懇談会

子どもの学校での学習指導や生活を、担任と保護者が一緒に話し合います。

#### 家庭訪問

担任が子どもの家に行き、家庭での様子などについて話し合います。

#### 授業参観

自分の子どもが学校で学習している様子を見に行きます。

#### 宿泊体験学習

学年全員で山や海へ行き、自然の勉強や、協力して作業することを学びます。2～3日家族から離れて生活します。

#### 球技大会

サッカーやバレーボール、バスケットボールなどをします。

#### 演劇鑑賞・音楽鑑賞

演劇を見たり音楽を聴きます。

#### 運動会

子どもたちが走ったり、ダンスをしたり、運動をします。保護者が学校に見に来ます。

#### 修学旅行

6年生は学年全員で旅行します。小学校最後の思い出として、先生や友達との交流を深めます。

## IV-2 中学校の行事

【中学校 (例)】学校によって月や内容は変わります。

4月	入学式	9月	授業参観 学級懇談会
	授業参観 学級懇談会	10月	体育祭 (体育大会)
5月	家庭訪問		遠足
	宿泊体験学習 (自然教室)	11月	文化祭
6月	修学旅行		授業参観
	授業参観	12月	個人面談
7月	三者面談	1月	百人一首大会
	球技大会	2月	球技大会
		3月	授業参観 学級懇談会
			卒業式



### 遠足

学校の外で、自然の中で遊んだり、有名な所に行きます。日帰り旅行です。

### 三者面談

子どもの学校での学習や生活を、担任が個別に保護者と子どもと3人で話し合います。

### 学級懇談会

子どもの学校での学習指導や生活を、担任と保護者が一緒に話し合います。

### 家庭訪問

担任が子どもの家に行って、家庭での様子などについて話し合います。

### 授業参観

自分の子どもが学校で学習している様子を保護者が見に行きます。

### 宿泊体験学習 (自然教室)

自然の中で宿泊して、協力しあって過ごします。(2泊～3泊)

### 球技大会

サッカーやバレーボール、バスケットボールなどをします。

### 体育祭 (体育大会)

子どもたちが走ったり、ダンスをしたり、運動をします。保護者が学校に見に来ます。

### 修学旅行

3年生の時に旅行をし、集団行動を通して先生や友達との交流を深めます。(奈良や京都に行く学校が多いです。)

### 文化祭

部活動などの発表をしたり、生徒を中心にイベントをします。

### 百人一首大会

日本の伝統的な百人一首競技をします。

### 職業体験学習

地域の企業や店などで実際の仕事を体験して、仕事の話聞きます。  
(1日～数日間)

V. <sup>きょうかないよう</sup> 教科内容

V-1 <sup>も もの</sup> 持ち物 1. <sup>さいしょ ひつよう</sup> 最初から必要なもの



かばん



ランドセル



うわば  
上履き



うわば <sup>ぶくろ</sup>  
上履き 袋



<sup>あかしらぼう</sup>  
赤白帽



<sup>たいそうぎ</sup>  
体操着



<sup>たいそうぎぶくろ</sup>  
体操着 袋



<sup>ぼうさいずきん</sup>  
防災頭巾



<sup>れんらくちょう</sup>  
連絡帳



<sup>れんらくちょうぶくろ</sup>  
連絡帳 袋



ノート



ふでばこ  
筆箱



<sup>えんぴつ</sup>  
鉛筆



け  
消しゴム



<sup>あかえんぴつ</sup>  
赤鉛筆



⑩ <sup>きゅうしよくぶくろ</sup>  
給食袋



はさみ



のり



ぞうきん



マスク

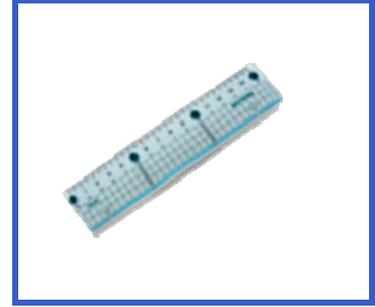
2 ひつよう ばあい 必要な場合があるもの



ホッチキス



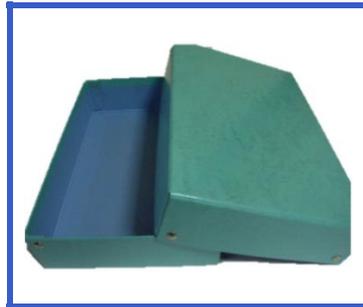
コンパス



23 定規 じょうぎ



したじ 下敷き



どうぐばこ 道具箱



クレヨン



いろえんぴつ 色鉛筆



ハンカチ/タオル



ティッシュペーパー (ちり紙) がみ



べんとう お弁当



べんとうぶくろ お弁当袋



じゅうどう ぎ 柔道着

3 教科で必要なもの



けん盤<sup>ぼん</sup>ハーモニカ 吹き口<sup>ふきぐち</sup>



リコーダー



アルトリコーダー



絵の具<sup>えのぐ</sup>セット



習字<sup>しゅうじ</sup>道具<sup>どうぐ</sup>



裁縫<sup>さいほう</sup>道具<sup>どうぐ</sup>



水着<sup>みずぎ</sup>



水泳帽<sup>すいえいぼう</sup>



バスタオル



分度器<sup>ぶんどき</sup>



エプロン



三角巾<sup>さんかくきん</sup>

4 えんそく しゅくはくがくしゅう もの  
遠足・宿泊学習の持ち物



リュックサック



ナップザック



水筒



着替え



スニーカー



敷物 (ビニールシート)



防寒着



雨具



軍手



歯磨きセット



バスタオル



タオル

## V-2 小学校の教科

- 1・2年生 「国語」「算数」「生活」「音楽」「図画工作」「体育」「特別の教科道徳」  
3・4年生 「国語」「社会」「算数」「理科」「音楽」「図画工作」「体育」「特別の教科道徳」  
5・6年生 「国語」「社会」「算数」「理科」「音楽」「図画工作」「家庭」「体育」  
「特別の教科道徳」です。

教科の他に「総合的な学習の時間」「YICA（外国語活動）」「学級活動」「児童会活動」  
「クラブ活動（4年生以上）」「学校行事」があります。

- 国語** 教科書を読んだり、自分で書いたりして日本語を勉強します。
- 社会** 3年生以上で勉強します。社会生活や、日本の国土や歴史を勉強します。
- 算数** 数量や図形について勉強します。
- 理科** 3年生以上で勉強します。自然について、観察や実験などもします。
- 生活** 1年生、2年生で勉強します。身近な社会や自然について勉強します。
- 音楽** 歌を歌ったり、楽器を演奏したり、曲の鑑賞をしたりします。
- 図画工作** 絵を描いたり、ものを作ったり、美術の鑑賞をします。  
家で材料を準備することがあります。
- 家庭** 5年生、6年生で勉強します。料理や裁縫、家事全般を勉強します。
- 体育** 走ったり、泳いだり、体操などをします。教室で体操着や水着に着替えます。
- YICA（外国語活動）** 楽しく英語にふれあう時間です。  
**（国際理解教室）** 世界各地の先生が自分の国や文化を習慣を英語で紹介します。
- 総合的な学習の時間** 自分で課題を見つけ、より良く問題を解決する力を身に付けるための勉強をします。
- 特別の教科道徳** いのちの大切さや人を思いやる心を育てるための勉強をします。
- 学級活動** 自覚や責任をもって行動することを勉強します。
- 児童会活動** 学校生活を良くするための活動をします。
- クラブ活動** 共通の興味や関心をもつ児童が集まり活動します。（運動、文化）

### V-3 中学校の教科

中学校では、「国語」「社会」「数学」「理科」「音楽」「美術」「保健体育」「技術・家庭」「外国語（英語）」「総合的な学習の時間」「特別の教科道徳」があります。  
教科の他に「学級活動」「生徒会活動」「部活動」などがあります。

**国語** 教科書を読んだり、自分で書いたりして日本語を勉強します。

**社会** 社会生活や、日本や世界の地理、歴史などを勉強します。

**数学** 数量や図形について勉強します。

**理科** 自然の観察や実験などをします。科学的な見方や考え方を覚えます。

**音楽** 歌を歌ったり、楽器を演奏したり、曲の鑑賞をしたりします。

**美術** 絵を描いたり、作品を作ったり、美術の鑑賞をしたりします。

**総合的な学習の時間** 自分で課題を見つけ、より良く問題を解決する力を身に付けるための勉強をします。

**保健体育** 走ったり、泳いだり、体操などをします。教室で体操着や水着に着替えます。

**技術・家庭** 生活に必要な知識や技能を勉強します。家や社会で使う技術（パソコン等も含む）を勉強します。衣食住について、日常の生活に必要な知識と技術を勉強します。

**外国語** 英語の勉強をします。

**特別の教科道徳** いのちの大切さや人を思いやる心を育てるための勉強をします。

**学級活動** 自覚や責任をもって行動することを勉強します。

**生徒会活動** 学校生活を良くするために活動します。

### V-4 あゆみ・連絡票

学校での学習の成果や学校生活の様々な活動について、各学期の終わりに担任の先生から、「あゆみ・連絡票」が渡されます。学校によって「あゆみ・連絡票」の名前や形式が変わることがあります。

## VI. 部活動

中学校には部活動があります。

サッカーや野球やテニスなどの運動部と、吹奏楽や美術などの文化部があります。

グループに入って放課後に活動します。約80%の生徒が部活動に参加しています。

放課後以外に、早朝、土・日曜日、夏休みにも練習します。試合や合宿などがあります。

道具、ユニフォームや、試合に出るための交通費などのお金がかかります。

【部活動の種類】(学校によって違います。学校の先生に聞いてください。)

### ☆ 運動部

野球 サッカー バレーボール バasketボール テニス ハンドボール  
バドミントン ソフトボール 陸上 水泳 卓球 体操 柔道 剣道

### ☆ 文化部

演劇 吹奏楽 合唱 美術 理科 社会 書道 華道 茶道  
図書 園芸 囲碁 将棋 英語 パソコン ギター イラスト

## VII. 日本の学校に入る前に、親として知っておくこと

### VII-1 親が払うお金

日本の公立小・中学校では入学金、授業料、教科書代は無料です。教科書以外の教材、学習用品、制服、体育服、遠足、給食(小学校)、修学旅行などのお金は親が払います。

学校が指定した日までに必ず払います。収入が少なく、払えない場合は、就学援助制度があります。学校に相談します。

### VII-2 親が先生と話す機会

日本の学校では、親と先生が子どものことを話し合う機会があります。学校に通訳を頼むこともできます。

#### 1 家庭訪問

学校の先生が家に来て、子どもが家庭や学校での様子を親と話し合います。家庭訪問がない学校もあります。

#### 2 保護者会

親が学校に行き、先生の話や、みんなで先生と話し合います。

#### 3 個人面談(三者面談)

親が学校に行き、先生(子どもも一緒の場合は三者面談と言います。)と話をします。子どものことを相談できます。個人面談の時間は学校から知らせます。

### Ⅶ-3 PTA (英語の「保護者と教師の会」の略です。)

PTAは親と先生の会です。PTAの活動に参加することで、子どもの学校での様子がわかります。ほかの親とも知り合いになることができます。できるだけ参加します。

### Ⅶ-4 日本語の勉強

子どもは、日本語での会話がすぐできるかもしれませんが、読み書き（特に漢字）を勉強することは大変な努力が必要です。家でも勉強する習慣が大事です。

子どもは日本語が得意になって、母語を忘れてしまう可能性もあります。日本語の勉強をしながら、母語（母国語）を忘れないように、家庭でも協力してください。

### Ⅶ-5 学校生活で気を付けてほしいこと

#### 1 服装

- ・イヤリングやネックレスなどのアクセサリは禁止です。髪の毛を染めたり、パーマをかけたりしてはいけません。化粧もいけません。
- ・中学生は制服がある学校は制服を着ます。冬にコートやカーディガンを着る人は、単色で、紺、茶、グレーなどの落ち着いた色のものを着ます。
- ・靴は歩いたり、運動したりしやすい靴で行きます。

#### 2 持ち物

- ・教科書、ノートなどは、時間割や連絡帳を見て、毎日カバンを入れ替えます。
- ・学校には、お菓子（ガム・アメ・ジュースなど）や、学習に必要なもの（携帯電話、お金、おもちゃなど）を持って行ってはいけません。必要があって、携帯電話やお金を持って行ったときには、朝、担任の先生に預かってもらいます。

#### 3 欠席・遅刻

- ・学校には毎日遅れないように行きます。子どもが病気などで、学校を休む時や遅刻する時は、朝、親が必ず学校に連絡します。

#### 4 早退

- ・家の用事や、子どもの具合が悪くなったときは早退します。
- ・家の用事などの場合は、親が連絡帳などで学校に言います。
- ・子どもの具合が悪い場合は、学級担任の先生や保健室の先生から連絡があります。
- ・子どもの具合が悪い場合は、親が子どもを迎えに行ったり、子どもが家に帰ったら学校に電話することもあります。

#### 5 通学

- ・自転車での通学はできません。
- ・学校に入ったら、買い物や、忘れ物を取りに学校を出ることはできません。
- ・学校から家に帰る途中の買い物は禁止です。
- ・夜や学校が休みの日などは、学校に入れません。

## VIII. 学校が終わった後（小学生）

横浜市では、小学生が学校の後、安心して過ごせる場所があります。学校によって違います。

「放課後キッズクラブ」、「はまっ子ふれあいスクール」:

- ・学校で活動します。
- ・年に500円の「傷害見舞金制度負担金」を親が払います。
- ・午後5時までは無料です。

「放課後児童クラブ」:

- ・学校と違う場所で活動します。
- ・有料です。(クラブによってお金が違います。)

詳しくは「放課後キッズクラブ」、「はまっ子ふれあいスクール」、「放課後児童クラブ」に聞きます。

## IX. 進路

### IX-1 小学校から中学校への入学

横浜市の小学校6年生の子どもには、卒業する年の1月に区役所から「中学校就学通知」が届きます。

子どもが入学する予定の中学校では、1月から3月の間に、入学説明会があります。中学校のことや、用意しなければならないことを教えてくれるので、必ず参加してください。説明会のお知らせは小学校の先生からもらえます。

小学校6年生の子どもがいても、「中学校就学通知」が届かない時は、区役所に相談します。

### IX-2 中学校卒業後の進路

中学校を卒業すると、高校などに入学するか、仕事をします。高校にはいろいろな種類があるので、子どもと親、学校の先生とよく相談して、学校を決めてください。

神奈川県では、98%以上の子どもが進学しています。

# 1 中学校卒業後の進路

中 学 校 卒 業	<p>(1) 仕事をする</p> <p>(2) 高校に入学する</p> <p>(3) 専修学校・各種学校（主に職業のための専門的な勉強をする学校（1～3年で卒業））</p> <p>(4) 高等専門学校（専門の技術を勉強するための学校（5年で卒業））</p>
-----------------------	--

## 2 主な進路の説明

### (1) 仕事をする

日本では、中学校を卒業すると仕事をすることができます。

<仕事の探し方>

A 中学校に来ている仕事の案内で探す

仕事の内容や給料、場所などを、学校の先生と相談します。

職場を見学して、試験を受けます。

B 知り合いの紹介で仕事をする

夜の学校や、家で勉強をする通信制の学校では、仕事と学校の両方できることがあります。

仕事と学校の両方をやる場合には、職場に相談します。

仕事を紹介してくれる、ハローワークでは一人ひとりの相談をしますが、中学校卒業で探せる仕事は少ないです。

### (2) 高校に入学する

高校には「公立高校」と「私立高校」があります。

#### ① 高校の種類

##### (a) 学校の時間

(f) 全日制：朝から午後まで授業があります。3年間で卒業します。

(i) 定時制：夕方から夜まで授業があります。（昼間に授業がある学校もあります。）  
4年間で卒業します。（3年間で卒業できる場合もあります。）

(h) 通信制：家で勉強します。レポートの提出や月2回くらいの面接があります。  
3年以上で卒業します。

##### (b) 学習内容の種類

(f) 普通科：すべての教科を勉強する一般的な内容です。

(i) 専門学科：農業や工業、看護、スポーツなどの専門的な知識や技術を勉強します。

(h) 総合学科：普通科と専門学科の両方を勉強します。

## ② 高校に入学するための方法

### (a) 入学者選抜（入学できる人を選びます）

#### (f) 公立高校

すべての学校で「共通選抜」の試験を受けます。夜の定時制と通信制の高校では「定通分割選抜」の試験があります。

中学校が作った「調査書」と試験当日に行う「学力検査」「面接」、学校ごとの「特色検査」の結果で、高校に入れるかどうか決まります。

希望する高校に入る準備のために、「募集案内」や「募集要項」を読んでください。

#### (i) 私立高校

私立高校に入るためには、「推薦入試」と「一般入試」があります。「推薦入試」は、中学校が高校に入る推薦をしてくれます。「一般入試」は、試験を受けて入ります。

### ※「日本語を母語としない方へのご案内（公立高校入学のためのガイドブック）」

日本語がわからない子どもや親のために、英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語・タガログ語・韓国朝鮮語・タイ語・カンボジア語・ネパール語・ベトナム語で書いてある公立高校に入るための案内です。

ホームページで見ることができます。

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f160600/p447657.html>

ホームページでは、ほかにも「高校進学ガイダンス」や説明会の案内が書いてあります。

### 【注意事項】

※ 海外で9年間の学校教育を終わっている人は、高校に入るための承認をもらうことが必要です。海外で中学校を卒業して、高校から日本に来る人は、神奈川県教育委員会（045-210-8084）で聞きます。

※ 全日制高校（昼間の高校）に入るためには、子どもと親が神奈川県に住んでいるか、高校に入る年の4月1日までに神奈川県に引っ越し予定であることが条件です。

### (b) 帰国生徒・外国人生徒のための特別募集

海外から日本に帰国してきた生徒や、外国人の生徒が特別な枠で高校に入ることができると募集をしています。詳しくは先生に相談します。

#### (f) 海外帰国生徒特別募集

募集の条件に当てはまる生徒は、学力検査（英語、国語、数学の3教科だけ）と作文、面接で試験を受けられます。

【募集の条件】① 神奈川県公立高校への志願資格がある。

② 保護者の仕事などで、2年以上続けて外国に住んでいた。

③ 外国から日本に戻ってきて、3年未満。

(イ) 在県外国人等特別募集

募集の条件に当てはまる生徒は、学力検査（英語、国語、数学の3教科だけ）と面接で試験を受けられます。

【募集の条件】①神奈川県かながわけんの公立高校こうりつこうこうへの志願資格しがんしかくがある外国籍がいこくせきの人、または、日本国籍にほんこくせきを取得して3年以内ねんいの人。

②受検じゅけんの年としの2月1日がついついちまでに、日本にほんに住んでいる期間きかんが合計ごうけいで3年以内ねんいの人。

(c) 一般の募集での特別な受検

中学校ちゅうがっこうの校長先生こうちょうせんせいから、希望きぼうしている高校こうこうの校長先生こうちょうせんせいに申請しんせいすると、特別な受検とくべつじゅけんができます。対象たいしょうは、受検じゅけんの年としの2月1日がついついちまでに海外かいがいから引越ひこして6年以内ねんいの生徒せいとです。

対象たいしょうになる時ときには、先生せんせいにお願いねがいます。

中学校ちゅうがっこうの試験しけんで特別とくべつに対応たいおうしている内容ないようと同じ内容おなです。

【特別な受検の方法】

- ①学力検査がくりよけんさの問題もんだいなどにルビるび（ふりがな）を付けること
- ②学力検査等がくりよけんさとうの時間じかんを延長えんちよう（最長さいちよう1.5倍）すること
- ③面接めんせつの時とき、分かりやすい言葉ことばでゆっくり話はなすこと

③ 問い合わせ先

高校こうこうの種類しゆるいで質問しつもんする場所ばしょが違います。(b)と(c)では、電話でんわをかけてからどこに質問しつもんしたいか伝つたえます。

(a) 横浜市立高校	横浜市教育委員会 <small>よこはましきやういくいいかいこうこうきやういくか</small> 高校教育課	でんわ 電話 045-671-3887
(b) 神奈川県立高校	神奈川県教育局 <small>かながわけんきやういくきやうくじどうぶこうこうきやういくか</small> 指導部 <small>さいちよう</small> 高校教育課	でんわ 電話 045-210-8084
(c) 私立高校	神奈川県 <small>かながわけん</small> 県民局 <small>けんみんきやうくじ</small> 次世代 <small>さいだい</small> 育成部 <small>いくせいぶ</small> 私学振興課 <small>しがくしんこうか</small>	でんわ 電話 045-210-3768

(3) 専修学校・各種学校等

専修学校せんしゅうがっこうや各種学校かくしゅうがっこうに行きたい場合は、中学校ちゅうがっこうの先生せんせいに相談そうだんします。

【問い合わせ先】

(専修学校・各種学校)

神奈川県かながわけん県民局けんみんきやうくじ次世代さいだい育成部いくせいぶ私学振興課

でんわ  
電話 045-210-3768

神奈川県かながわけん専修学校せんしゅうがっこう各種学校かくしゅうがっこう協会

でんわ  
電話 045-312-2221

(職業技術校)

神奈川県かながわけん商工労働局しょうこうらうどうきやうくじ労働部らうどうぶ産業人材課

でんわ  
電話 045-210-5715

(4) 高等専門学校

高等専門学校こうとうせんもんがっこうに行きたい場合は、中学校ちゅうがっこうの先生せんせいに相談そうだんします。

【問い合わせ先】 独立行政法人どくりつぎやうせいほうじん 国立高等専門学校機構こくりつこうとうせんもんがっこうきこう 電話 042-662-3120

## X. 問い合わせ

### X-1 外国人のための生活情報、相談、通訳ボランティアの窓口 (12/29～1/3はお休み)

#### ☆ YOKE

電 話 : 045-222-1209

住 所 : 西区みなとみらい1-1 パシフィコ横浜 横浜国際協力センター5F  
(桜木町駅)

対応言語 : スペイン語・英語・中国語

時 間 : 月～金 10:00～11:30 / 12:30～16:30 第2・4土 10:00～12:30

ホームページ : <http://www.yoke.or.jp>

#### <国際交流ラウンジ>

#### ☆青葉国際交流ラウンジ

電 話 : 045-989-5266 FAX : 045-982-0701

住 所 : 青葉区田奈町76 青葉区民交流センター田奈ステーション内 (田奈駅)

時 間 : 月～土 9:00～21:00 日・祝日 9:00～17:00 (第4日曜日は休み)

ホームページ : <http://aoba-lounge.sakura.ne.jp/index.html>

#### ☆いずみ多文化共生コーナー

電 話 : 045-800-2487 FAX : 045-800-2518

住 所 : 泉区和泉町4636-2 泉区役所1階 いずみ区民活動支援センター内  
(いずみ中央駅)

時 間 : 月・火・木 9:00～16:00 第2・4土 9:00～12:00

ホームページ : <http://www.city.yokohama.lg.jp/izumi/16press/25.02.04-shinkou.html>

#### ☆金沢国際交流ラウンジ

電 話 : 045-786-0531 FAX : 045-786-0532

住 所 : 金沢区泥亀2-9-1 金沢区役所2階 (金沢八景駅、金沢文庫駅)

時 間 : 月～土 9:00～17:00

ホームページ : <http://www.kanazawalounge.org/>

#### ☆港南国際交流ラウンジ

電 話 : 045-848-0990 FAX : 045-848-3669

住 所 : 港南区上大岡西1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー13階 (上大岡駅)

時 間 : 月～土 9:00～21:00 (第3水曜日は休み) 日・祝日 9:00～17:00

ホームページ : <http://www.konanlounge.com/>

こうほくこくさいこうりゅう  
☆港北国際交流ラウンジ

でん わ 電 話 : 045-430-5670 FAX : 045-430-5671

じゅう しょ こうほくくまめど きくなえき  
住 所 : 港北区大豆戸316-1 (菊名駅)

じ かん げつ きん だい げつようび やす にち しゅくじつ  
時 間 : 月~金 9:00~21:00 (第3月曜日は休み) 日・祝日 9:00~17:00

ホームページ : <http://homepage2.nifty.com/kohokulounge>

つづきたぶんか せいしょうねんこうりゅうぶらざ  
☆つづき MY プラザ (都筑多文化・青少年交流プラザ)

でん わ 電 話 : 045-914-7171 FAX : 045-914-7172

じゅう しょ つづきくながわちゅうおう かい つるみえき  
住 所 : 都筑区中川中央1-25-1 ノースポート・モール5階 (センター北駅)

じ かん げつ きん どにち しゅくじつ  
時 間 : 月~金 10:00~21:00 土日・祝日 10:00~18:00

ホームページ : <http://tsuzuki-myplaza.net/>

つるみこくさいこうりゅう  
☆鶴見国際交流ラウンジ

でん わ 電 話 : 045-511-5311 FAX : 045-511-5312

じゅう しょ つるみくつるみちゅうおう かい つるみえき  
住 所 : 鶴見区鶴見中央1-31-2-214 シークレイン2階 (鶴見駅)

じ かん げつ ど だい すいようび やす にち しゅくじつ  
時 間 : 月~土 9:00~21:00 (第3水曜日はお休み) 日・祝日 9:00~17:00

ホームページ : <http://www.tsurumilounge.com/>

こくさいこうりゅう  
☆なか国際交流ラウンジ

でん わ 電 話 : 045-210-0667

じゅう しょ なかくにほんおどおり なかくやくしよとなり かないえき  
住 所 : 中区日本大通34 中区役所隣 (関内駅)

じ かん げつ すい もく きん にち だい げつようび やす か ど  
時 間 : 月・水・木・金・日 10:00~17:00 (第4月曜日は休み) 火・土 10:00~20:00

ホームページ : <http://nakalounge.main.jp/>

こくさいこうりゅう  
☆ほどがや国際交流ラウンジ

でん わ 電 話 : 045-337-0012 FAX : 045-337-0013

じゅう しょ ほどがやくいわまちよう いわましみる てんのうちようえき  
住 所 : 保土ヶ谷区岩間町1-7-15 岩間市民プラザ (天王町駅)

じ かん げつ にち だい げつようび やす  
時 間 : 月~日 10:00~18:00 (第2月曜日は休み)

ホームページ : <http://www.hodogaya-kokusai.com/>

しみんかつどう たぶんかきょうせい  
☆みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ

でん わ 電 話 : 045-232-9544 (日本語)、045-242-0888 (外国語) FAX : 045-242-0897

じゅう しょ みなみくうらふねちよう うらふねふくごうふくししせつ ばんどうばしえき  
住 所 : 南区浦舟町3-46 浦舟複合福祉施設10F (阪東橋駅)

じ かん げつ にち しゅくじつ だい げつようび やす  
時 間 : 月~日・祝日 9:00~17:00 (第3月曜日は休み)

ホームページ : <http://tabunka.minamilounge.com/>

<その他の窓口>

☆あーすふらざ外国人相談窓口

住 所：栄区小菅ヶ谷1-2-1 神奈川県立地球市民かながわプラザ (本郷台駅)

ホームページ：http://www.earthplaza.jp/

○一般相談・法律相談

電 話：045-896-2895

対応言語：英語・中国語・韓国朝鮮語・スペイン語・ポルトガル語

○教育相談

電 話：045-896-2970

対応言語：タガログ語・ポルトガル語・中国語・スペイン語

☆泉区外国語相談

○(中国語生活相談)

時 間：木曜日 10:00～12:00、13:00～16:00 電 話：045-800-2334

○(インドシナ難民定住者・ベトナム語生活相談)

時 間：金曜日 10:00～12:00、13:00～17:00

電 話：045-801-3738 (カンボジア語とラオス語は、電話通訳になります。)

X-2 入学、学年の途中で学校が変わるとき

☆ 区役所の登録係に相談します。

X-3 ボランティアの日本語教室・勉強のサポート

☆ YOKE のホームページを見てください。

http://www.yoke.or.jp/jdatabase/search.html

X-4 外国人学校

☆ 横浜市にある外国人学校(英語・中国語・ハンデル・ドイツ語などでの教育)があります。

問い合わせ：神奈川県民局次世代育成部学事振興課 電話：045-210-3768

## X-5 中学校夜間学級

☆ 中学校を卒業する前に、中学校卒業の年齢になった人のための学校です。夜間学級に行きながら、日本語教室にも行かれます。

<夜間学級に行く条件>

- ① 中学校を卒業していない ※
- ② 横浜市に住んでいる、または、働いている
- ③ 中学校卒業の年齢を超えている

※ 自分の国で中学校を卒業していても、小学校・中学校の合計年数が9年に満たない人は、②・③に該当すれば、夜間学級に行くことができます。

費用：授業は無料。授業に必要な教材や保険料など有料のものもあります。

時間：17:30～21:00 頃

場所：蒔田中学校（南区花之木町2-45）（蒔田駅）

問い合わせ：横浜市教育委員会小中学校企画課 電話：045-671-4447

## X-6 就学援助（学校に行くお金を補助します）

子どもが小学校・中学校に行っていて、経済的に困っている場合は、学校に相談します。

学校で使う教材や、修学旅行のお金、給食のお金などの補助があります。

学校から「就学援助」のための書類が配られます。母語の書類もあるので、先生に相談します。

## X-7 奨学金

経済的に困っていて、高校に行くことが難しい場合は、奨学金制度があります。

☆問い合わせ：横浜市教育委員会高校教育課 電話：045-671-3272

## X-8 自分の国に帰るとき

日本の学校に行っていたことや卒業したことを証明したい場合は、学校に相談します。

## ようこそ横浜の学校へ Ⅲ保護者の方へ



平成 25 年 2 月 28 日 初版発行

平成 29 年 5 月 やさしい日本語版発行

令和元年 11 月 やさしい日本語改訂版発行

発行 横浜市教育委員会事務局 小中学校企画教育課

横浜市中区港町 1 - 1

電話 045 (671) - 3588

- ◆『ようこそ横浜の学校へ』は、次のホームページからダウンロード可能です。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/kyoikukatei/nihongoshido-tebiki/>